

# 病害虫発生予察情報

## 3 月月報

平成 30 年 4 月 23 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018 年 3 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	14.4	2.4	3.9	2.1	9.1	2.4	207.0	734	51.6	95
中旬	16.4	2.8	5.3	2.0	10.7	2.4	10.5	34	59.0	99
下旬	17.9	3.6	6.4	1.9	12.3	3.0	54.5	102	83.4	152
平均	16.2	2.9	5.2	2.0	10.7	2.6				
合計							272.0	242	194.0	115

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：気 温：上・中・下旬ともかなり高かった。
- ◎ 降 水 量：上旬はかなり多く、中旬は少なく、下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上旬は少なく、中旬は平年並、下旬はかなり多かった。

上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し天気は数日の周期で変わった。8 日から 9 日は低気圧と湿った空気の影響で大雨になった。なお、1 日には日本海の低気圧が発達しながら北東へ進み、また関東付近にも低気圧が発生して発達しながら北上したため、南よりの風が強まって気温が上昇し、関東地方で「春一番」が吹いた。

中旬：前半は移動性高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は前線を伴った低気圧が通過したため、曇りの日があった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間のはじめは低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の日もあった。

### 2 作物生育概況

#### （1）野菜

果菜類：半促成・促成トマト、促成イチゴの生育は概ね順調であった。果菜類の苗は順調な生育であった。トンネル早熟のスイートコーンの発芽や生育は順調であった。

葉根菜類：コマツナやホウレンソウは気温が高めに経過したため、生育が早まった。コマツナでは抽苔が多い傾向であった。定植後のキャベツは概ね順調な生育であったが、ノラボウナでは収穫が早まる傾向であった。タマネギは冬季の低温の影響で一部の地域で生育がやや遅れた。

## 3 病害虫の発生概況

## (1) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

## (2) 野菜の病害虫

## トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

葉かび病 < 少 > 発生は少なかった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

## コマツナ（施設）

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

## ハウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

## ネギ

ネギアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

## イチゴ（施設）

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

うどんこ病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

ハダニ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。

## (3) 島しょの病害虫

小笠原：マンゴーにおいてカイガラムシ類の発生がやや多かった。

八丈島：レモンにおいてハモグリガ類による葉の被害が下旬から見られはじめた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/enzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、  
防除のポイントなどをお知らせしています。